令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：社会福祉課
 担当名：総務・社会福祉担当
 内線：3221

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
S9	福祉ボランティア活動支援事業費		一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	福祉ボランティア活動支援事業費	
事業期間	平成 6年度～	根拠法令	埼玉県ボランティア・市民活動センター支援事業補助金交付要綱、彩の国福祉ボランティア体験学習事業補助金交付要綱	針路	02	県民の暮らしの安心確保	SDGsゴール	3
				分野施策	0206	生活の安心支援	SDGsターゲット	3-1, 3-2, 3-3, 3-4
1 事業概要	<p>ボランティア活動などの地域福祉活動への支援や、ボランティア活動への参加の促進を図ることにより、住民が支え合う地域社会の構築を目指す。 そのため、ボランティアの人材養成や情報発信を行う埼玉県ボランティア・市民活動支援センターが実施する事業への支援や県民を対象とした体験学習事業への支援を実施する。</p> <p>(1) ボランティアセンター支援事業 (2) ボランティア体験学習事業 市町村社会福祉協議会の事業費(ボランティア体験学習事業)が当初見込みを下回ったことによる減 △1,194千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア ボランティアセンター支援事業 ボランティアコーディネーター研修、ボランティア情報の発信等 4,177千円 イ ボランティア体験学習事業 県民対象のボランティア体験学習事業への支援 14,692千円→13,498千円</p> <p>(2) 事業計画 ア ボランティアセンター支援事業 埼玉県ボランティア・市民活動支援センターが実施する事業への支援を行う。 (ア) ボランティアコーディネーター研修 ボランティア活動を行う県民と受け入れを希望する団体等のコーディネート円滑を行うため、市町村社会福祉協議会や福祉施設等の職員を対象とした研修を実施する。 (イ) ボランティア情報の発信 ホームページ等で県民やボランティア団体等へボランティア情報の提供を行う。 イ ボランティア体験学習事業 県民のボランティア活動参加へのきっかけづくりのため、市町村社会福祉協議会が実施する体験学習事業への支援を行う。</p> <p>(3) 事業効果 ボランティア体験学習に参加することにより、ボランティア活動の大切さや楽しさを知り、今後の本格的な活動へとつながっていく。 ボランティア体験学習事業の参加者数 令和2年度：13,448人 令和3年度：19,880人 令和4年度：26,685人</p> <p>(4) 補正予算の概要 ボランティア体験学習事業 市町村社会福祉協議会の事業費(ボランティア体験学習事業)が当初見込みを下回ったことによる減額</p>					
2 事業主体及び負担区分	<p>(1) (国1/2・県1/2)事業者0 (2) (県1/2)事業者1/2</p>							
3 地方財政措置の状況	なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	人件費：9,500千円×0.2人=1,900千円							
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,194		繰入金				0	17,675
現計額	18,869	2,088	14,692				2,089	

事業内訳書

事業名	福祉ボランティア活動支援事業費		
単位事業名	福祉ボランティア活動支援事業費	予算額	△ 1,194千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ シラコバト長寿社会福祉基金繰入金	△1,194	—	
合計	△1,194	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△1,194	—	ボランティア体験学習事業 市町村社会福祉協議会の事業費(ボランティア体験学習事業)が当初見込みを下回ったことによる減額
合計	△1,194	—	